

労働図書館新着情報

今月の図書紹介

<p>①橋本俊詔著『21世紀日本の格差』岩波書店 (vi+216頁, 四六判)</p> <p>全世界で大ブームとなったピケティをはじめ、各国での格差や不平等に関する卓越した分析と政策提言をしてきたディートンやアトキンソンなどの研究を踏まえ、日本の格差問題の第一人者が豊富なデータをもとに日本の格差の実態を探究する。筆者は、所得格差を論じる際は、①お金持ち②貧富の格差③貧乏人の3種の視点があると指摘、なかでももっとも大切なのは、③の貧困者の問題だとする。とくに今後の日本が直面する格差として一番深刻なのは、高齢化社会における恵まれた高所得者と貧困者との間に発生する「老老格差」であると強調。健康状態から生じる「健康格差」と合わせて議論する必要性を訴えている。いま知っておくべき格差問題の本質が浮き彫りに。</p>	<p>③福井康貴著『歴史のなかの大卒労働市場』勁草書房 (vi+197頁, A5判)</p> <p>就職・採用活動時期の後ろ倒しなど大学生の「就活」が昨今、大きな話題になっている。こうした企業と学生の出会い、組み合わせを決める仕組みは、どのようにして成立してきたのだろうか。本書は、大卒労働市場のこれまでの歴史を求人・求職活動とその制約に焦点を当てて記述し、大卒労働市場の変化を具体的に明らかにしている。現在、「出会い」のタイミングは企業間のガイドラインで規制されているが、以前からそうだったわけではないと指摘。戦前から戦後にかけては学校推薦制が標準的で、指定校制、自由応募制への制度変化を解明する。また、「情報の非対称性」に対処するためのスクリーニング、シグナリングなどの企業と学生間の出会い（相互行為）も分析。</p>
<p>②工藤律子著『ルポ雇用なしで生きる』岩波書店 (xi+194頁, 四六判)</p> <p>リーマン・ショックによる2008年の金融危機以降、深刻な経済停滞と30%近い失業率に苦しんだスペインでは、政治改革とともに、雇用なしでも豊かに暮らすための取り組みが盛んになっているという。「時間」を交換単位として「銀行」に参加するメンバー間でサービスのやり取りをする「時間銀行」。「たとえ雇用がなくても、既存の経済システムからはみ出しているも、自分の労働が評価され、生活の糧を入手できる進化した決済手段」である手帳式の地域通貨「ソキート」など日本でもあまり知られていない試みを紹介。そのうえで、すべての市民が安心して暮らせるよう、「社会的連帯経済」の推進を訴える。既存の社会・経済システムに依存しない様々な生き方を提示。</p>	<p>④東京弁護士会労働法制特別委員会公務員労働法制研究会著『裁判例にみる「非正規公務員」の現状と課題』法律情報出版 (iv+278頁, A5判)</p> <p>国や地方自治体の予算が制約されるなか、公共サービスを維持するため、臨時職や非常勤公務員が増加してきた。いまや全公務員の3分の1を超えるとも言われる。この結果、正規公務員と異なる労働条件や身分保障のもとで、多くの紛争が発生している。こうした事件は関係する法律が労働法や公務員法のほか、国家賠償法、行政訴訟法など多岐にわたるため、取り扱う弁護士も少ないようだ。本書は、法的な見地から非正規公務員の問題点を探究、主要な問題である雇止めと処遇の問題に関し、裁判例を分析し、現状と課題について論じている数少ない書籍である。</p>

(日本十進分類[NDC]順に掲載)

主な受け入れ図書

(2016年3-4月労働図書館受け入れ)

- | | |
|--|---|
| ⑥水谷英夫著『QA労働・家族・ケアと法』信山社(xv+300頁, 四六判) | ⑩給料BANK著『日本の給料&職業図鑑』宝島社(191頁, A5判) |
| ⑦武田公子著『ドイツ・ハルツ改革における政府間財政関係』法律文化社(iii+194頁, A5判) | ⑪労働調査会出版局著『最低賃金法の詳解』労働調査会(437頁, A5判) |
| ⑧森紗也佳著『知的障害者の就労支援』ナカニシヤ出版(vii+60頁, 四六判) | ⑫飯嶋和紀著『労働組合職場組織の交渉力』平原社(173頁, A5判) |
| ⑨嶋亜矢子著『中国の労働市場と職業訓練』農林統計出版(viii+144頁, A5判) | ⑬本田豊他著『東日本大震災からの地域経済復興』ミネルヴァ書房(285頁, A5判) |
| ⑩国際労働機関著『ビジネスと経営における女性』一灯舎(xvi+183頁, B5判) | ⑭P.F.コーブランド著『図説初期アメリカの職業と仕事』悠書館(xx+282頁, A5判) |

労働図書館 <http://www.jil.go.jp/lib/index.html>

当図書館は、社会科学関係書を中心に和書118,275冊、洋書30,519冊、和洋の製本雑誌25,332冊を所蔵している日本有数の労働関係の専門図書館です。

労働関係の分野には、労働法、労働経済、労働運動、雇用職業、女性労働、パート派遣、高齢者労働、障害者労働、外国人労働、社会福祉などがあり、これらで、蔵書の半数以上を占めています。このほかにも、経済書をはじめ経営学、心理学、教育学、社会学など関係分野に及んでいます。また、和雑誌(285種)、洋雑誌(120種)、紀要(510種)、組合機関誌・紙を受け入れています。

特色としては、厚生労働省をはじめとする官公庁発行の統計類などの逐次刊行物、経団連など経営者団体の刊行物や民間研究機関刊行物、社史があり、労働組合に関しては、労働運動史、ナショナルセンターや産業別組合の大会資料などを継続的に収集しています。洋書については、特に国際労働機関(ILO)総会の議事録や経済協力開発機構(OECD)の刊行物、各国政府の労働統計書などを収集して閲覧に供しています。特殊コレクションとしては、戦前・戦後を通して歴史的に貴重な労働組合の原資料を収集、提供しています。

所在地: 〒177-8502 東京都練馬区上石神井 4-8-23
 開館時間: 9:30 ~ 17:00
 休館日: 土曜日・日曜日・国民の祝日・年末年始(12月28日~1月4日)、その他
 電話番号: 03(5991)5032 / FAX: 03(5991)5659
 利用資格: どなたでもご自由にご利用できます

貸出: 和書・洋書とも2週間、5冊までです
 ※身分証明書(運転免許証、健康保険証など)をお持ちください
 レファレンス・サービス: 図書資料の所在調査などのサービスを行っています

